

令和4年度公共事業評価委員会の審議結果及び委員会意見

事業整理番号	区分	事業名	箇所(市町村)	事業概要	評価理由	全体事業費(百万円)			事業執行済額(百万円)	事業期間		費用対効果(B/C)	進捗状況等の評価						県の対応方針(案)		公共事業評価委員会(案)	
						前回(当初)	今回	前回差前回比		事業採択年度	完了予定年度		現状及び見通し	期待される効果	社会情勢の変化	評価指標の状況	費用対効果	コスト削減	方針(案)	理由	審議結果	委員会の意見
101	道路整備	交付金事業(道路) (前回評価時:交付金事業(道路)(再生復興))	国道401号博士峠(会津美里町)	道路改築 L=7,500m	計画変更を行うこととする事業(事業費30%以上増)	18,200	31,630	+13,430 +73.8%	28,990	H26(2014)	R5(2023)	0.20(参考値0.66)	A	A	A	A	B	A	見直し継続	計画変更により事業費が増加するものの、事業をとりまく環境は大きく変化しておらず、前回評価時と同様の発現効果が見込まれることから、計画を変更し重点的に整備を進める必要がある。 本道路は、会津若松市と昭和村を結び、地域間の連携・交流を支える役割を担っている。また、「第2期福島県復興計画」に位置付けられる重要な路線である。 今回の計画変更は、地権者の同意が得られず残土流用先の変更が必要になったこと、また突発湧水や変状の発生により補助工法の追加や支保パターンを変更するものである。 計画変更により事業費は増額するが、冬季通行止めを解消し、救急医療機関へのアクセス向上、災害時の代替路の確保など、昭和村の生活基盤を改善させるためには本事業の推進が必要と考えられる。したがって計画変更を認め、事業を推進することが妥当であると判断した。	【対応方針】 見直し継続 【付帯意見】 事業推進にあたっては、さらなる計画変更による工事費の増加が生じないように十分に留意するとともに、残土処理の工夫をはじめ、コスト削減に向けたあらゆる手段を検討しながら、早期完了に努められたい。併せて、今後の道路整備事業の計画立案においては、事業着手後に大幅な計画変更が生じぬよう、残土流用について各事業間で綿密な連携・調整を図り、効率的な有効活用に努められたい。また、地権者との合意に向けたコミュニケーションや情報共有を丁寧に行うよう努められたい。	
102	道路整備	交付金事業(道路) (前回評価時:交付金事業(道路)(再生・復興))	国道289号入叶津道路(只見町)	道路改築 L=7,800m	計画変更を行うこととする事業(事業費30%以上増)	14,000	20,000	+6,000 +42.9%	13,122	S48(1973)	R8(2026)	0.66(参考値1.12)	A	A	A	A	B	A	見直し継続	福島県と新潟県の連携・交流の強化、通行不能区間の解消が図られるため、計画変更により事業を進める必要がある。 本道路は、県土の骨格となる6本の連携軸の南部軸を担う重要な路線であり、「福島県総合計画」の基幹的な道路に位置付けられている。 今回の計画変更は、橋梁の耐震基準変更に対応するための補強、管理計画策定に伴い道路管理設備工事・除雪ステーション、ロードキル対策などが必要になったことによるものである。 計画変更により事業費は増額するが、只見町と新潟県の冬季通行不能区間を解消し、広域的な産業・経済・文化の交流を強化するためには、本事業の推進が必要と考えられる。したがって計画変更を認め、事業を推進することが妥当であると判断した。	【対応方針】 見直し継続 【付帯意見】 事業推進にあたっては、さらなる計画変更による工事費の増加が生じないように十分に留意するとともに、コスト削減のため不断の努力を重ね、早期完了に努められたい。	
103	道路整備	交付金事業(道路)(再生・復興)	小野富岡線五枚沢2(川内村)	バイパス L=3,200m	事業採択から10年経過	(9,910)	12,400	+2,490 +25.1%	1,149	H24(2012)	R7(2025)	1.21(参考値2.02)	B	A	A	A	A	A	事業継続	線形不良及び幅員狭小区間の改良により、安全性の向上及び幹線道路(緊急輸送路)の機能が確保されるとともに、相双地方と県中地方、高速道路等へのアクセス性が向上する。このことから、川内村復興整備計画や富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画の着実な促進が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。 本道路は、相双地方と県中地方を結ぶ路線であり、広域的な連携・交流を支える重要な役割を担っている。また、「ふくしま復興再生道路」に位置付けられている。 本事業において線形不良及び幅員狭小区間が解消されることにより、幹線道路としての機能確保、地域間ネットワークの強化、また、川内村の復興整備計画や富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画の着実な促進が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	【対応方針】 事業継続 【付帯意見】 なし	
104	道路整備	交付金事業(道路) (前回評価時:交付金事業(道路)(再生・復興))	吉間田滝根線広瀬(いわき市田村市小野町)	道路改築 L=2,600m	計画変更を行うこととする事業(事業費30%以上増)	17,400	26,650	+9,250 +53.2%	24,340	H24(2012)	R5(2023)	0.93(参考値1.45)	A	A	A	A	B	A	見直し継続	計画変更により事業費が増加するものの、浜通りと中通りを連絡する幹線道路として福島県の復興・再生に大きく寄与することが期待されることから、計画を変更し重点的に整備を進める必要がある。 本道路は、相双地方と県中地方を結ぶ路線であり、広域的な連携・交流を支える重要な役割を担っている。また、「ふくしま復興再生道路」に位置付けられている。 今回の計画変更は、地震に起因する法面崩壊の対策工事の追加、残土運搬距離の増加、地下水の影響による橋梁下部工の施工方法見直しが必要になったことによるものである。 計画変更により事業費は増額するが、安全で円滑な交通を確保し、双葉地方の復興・再生を後押しするためには、本事業の推進が必要と考えられる。したがって計画変更を認め、事業を推進することが妥当であると判断した。	【対応方針】 見直し継続 【付帯意見】 事業推進にあたっては、さらなる計画変更による工事費の増加が生じないように十分に留意するとともに、コスト削減のため不断の努力を重ね、早期完了に努められたい。併せて、今後の道路整備事業の計画立案においては、残土流用について各事業間で綿密な連携・調整を図り、効率的な有効活用に努められたい。	
105	道路整備	交付金事業(道路)(再生・復興)	いわき上三坂小野線小名浜道路(いわき市)	道路改築 L=8,300m	福島県公共事業評価システム要綱第3条第3項によるもの	56,300	66,957	+10,657 +18.9%	51,334	H24(2012)	R6(2024)	0.94(参考値1.50)	A	A	A	A	B	A	事業継続	広域物流ネットワークの形成、周辺道路の交通環境の改善、地域の観光・産業の活性化、緊急輸送ネットワークの機能強化を図るため、現計画のとおり事業を進める必要がある。 本道路は、産業・物流の広域的拠点である小名浜港と常磐自動車道を結ぶ路線であり、広域物流ネットワークの形成を担っている。また、「ふくしま復興再生道路」に位置付けられている。 本事業において小名浜港から常磐自動車道までの所要時間が短縮されることにより、港湾と高速道路が一体となった広域物流及び緊急輸送のネットワーク強化、また地域の観光・産業の活性化などが期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	【対応方針】 事業継続 【付帯意見】 事業推進にあたっては、さらなる計画変更による工事費の増加が生じないように十分に留意するとともに、コスト削減のため不断の努力を重ね、早期完了に努められたい。	
106	道路整備	交付金事業(道路)(再生・復興)	国道288号船引バイパス(田村市)	道路改築 L=6,800m	福島県公共事業評価システム要綱第3条第3項によるもの	13,888(うち2.3工区9,898)	16,225(うち2.3工区12,235)	+2,337 +26.3%	11,282(2.3工区7,292.00)	H8(1996)	R7(2025)	0.76(参考値1.21)	A	A	A	A	B	A	事業継続	前回評価時と同様の効果発現が見込まれ、交通混雑の解消や緊急輸送道路の機能強化に寄与するため、現計画のとおり事業を進める必要がある。 本道路は、相双地方と県中地方とを結び、広域的な連携・交流を支える上で重要な役割を担っている。また、「ふくしま復興再生道路」にも位置づけられる重要な路線である。 本事業においてバイパスが整備されることにより、田村市船引町中心市街地の交通混雑解消、県中地方と相双地方の地域間ネットワーク及び緊急輸送路の機能強化が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	【対応方針】 事業継続 【付帯意見】 なし	

令和4年度公共事業評価委員会の審議結果及び委員会意見

事業整理番号	区分	事業名	箇所(市町村)	事業概要	評価理由	全体事業費(百万円)			事業執行額(百万円)	事業期間		費用対効果(B/C)	進捗状況等の評価						県の対応方針(案)		公共事業評価委員会(案)	
						前回(当初)	今回	前回差前回比		事業採択年度	完了予定年度		現状及び見通し	期待される効果	社会情勢の変化	評価指標の状況	費用対効果	コスト削減	方針(案)	理由	審議結果	委員会の意見
107	道路整備	道路橋りょう改良事業(県単)	滝谷松原線 桧原バイパス(三島町)	道路改築 L=1,600m	事業採択から10年経過	(8,500)	8,500	±0	338	H24(2012)	R19(2037)	0.13(参考値1.03)	B	A	A	A	B	A	事業継続	安全性の向上や福島県立宮下病院等へのアクセス性向上、災害に強い交通ネットワークの強化が図られるため、現計画のとおり事業を進める必要がある。	本道路は、国道252号と主要地方道柳津昭和線を連絡する路線で、県立病院へのアクセス道路であるとともに、国道400号が通行止めの際に迂回路として利用される重要な路線である。本事業において線形不良及び幅員狭小区間が解消されることにより、特に冬季における安全で円滑な交通が確保されるとともに、病院等へのアクセス向上が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし
108	道路整備	道路橋りょう改良事業(県単)	いわき上三坂小野線 久保目3工区(いわき市)	道路改築 L=1,000m	事業採択から10年経過	(2,573)	2,800	+227 +8.8%	2,720	H24(2012)	R5(2023)	0.57(参考値3.04)	A	A	A	A	B	A	事業継続	広域物流ネットワークの形成、周辺道路の交通環境の改善、地域の観光・産業の活性化、緊急輸送ネットワークの機能強化を図るため、現計画のとおり事業を進める必要がある。	本道路は、いわき市と県中地方を結ぶ路線であり、広域的な連携・交流を支える役割を担うとともに、中山間地域の交通を支える重要な路線である。本事業において線形不良及び幅員狭小区間が解消されることにより、安全で円滑な交通が確保されるとともに、異常気象時におけるいわき石川線の代替路線としての機能を確保し、災害に強いネットワーク機能の強化が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし
109	道路整備	道路橋りょう改良事業(県単)	いわき石川線 長光地(古殿町)	現道拡幅 L=1,600m	計画変更を行おうとする事業(事業費30%以上増)	(1,022)	1,328	+306 +30.0%	960	H24(2012)	R7(2025)	1.34(参考値2.18)	A	A	A	A	A	A	見直し継続	計画変更により事業費が増加するものの、安全性の向上やいわき地方と県中地方の物流ネットワーク向上のため、計画変更により事業を進める必要がある。	本道路は、いわき市と県中地方を結び、広域的な連携・交流を支える役割を担っている。また、「第2期福島県復興計画」に位置付けられる重要な路線である。今回の計画変更は、交通安全確保のための交差点形状見直しに伴って橋梁架け替えが追加となったことによるものである。計画変更により事業費は増額するが、安全で円滑な交通を確保するとともに、物流ネットワーク及び緊急輸送路の機能を強化させるためには、本事業の推進が必要と考えられる。したがって計画変更を認め、事業を推進することが妥当であると判断した。	[対応方針] 見直し継続 [付帯意見] 事業推進にあたっては、さらなる計画変更による工事費の増加が生じないよう十分に留意するとともに、コスト削減のため不断の努力を重ね、早期完了に努められたい。
110	道路整備	市町村合併支援道路整備事業	国道352号 中山峠(南会津町)	道路改築 L=2,200m	前回評価から5年経過	7,065	8,672	+1,607 +22.7%	6,457	H19(2007)	R7(2025)	0.67(参考値1.23)	A	A	A	A	B	A	事業継続	安全性の向上や南会津町中心部等へのアクセス向上を図り、公共施設の共同利用促進など町村合併した二つの地域の結びつきを強められるため、現計画のとおり事業を進める必要がある。	本道路は、旧館岩村と旧田島町を結ぶ路線であり、南会津地方の救急搬送先である南会津病院へのアクセス道路として重要な役割を担っている。本事業において線形不良及び幅員狭小区間が解消されることにより、安全で円滑な交通の確保、大雨による異常気象時の通行規制区間の解消、地域間ネットワークの強化、二次救急医療機関へのアクセス向上等が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし
111	道路整備	交付金事業(道路)	国道349号 檜坂(平田村・古殿町)	道路改築 L=2,150m	計画変更を行おうとする事業(事業費30%以上増)	(1,300)	2,650	+1,350 +103.8%	2,030	H23(2011)	R6(2024)	1.10(参考値1.79)	A	A	A	A	A	A	見直し継続	計画変更により事業費が増加するものの、線形不良及び幅員狭小区間の解消による安全性の向上のため、計画変更により事業を進める必要がある。	本道路は、地域間の交流を促進し魅力ある地域づくりを支援する役割を担っている。また、「ふくしま道づくりプラン」の主要生活幹線道路に位置付けられる重要な路線である。今回の計画変更は、切土部で巨大な岩塊の出現に伴う掘削費用の増加、法面工法の変更の必要性が生じた。また、事業間の調整の結果、残土流用先が変更になったことによるものである。計画変更により事業費は増額するが、線形不良及び幅員狭小区間を解消し、安全性の向上及び幹線道路(緊急輸送路)の機能を確保するためには本事業の推進が必要と考えられる。したがって計画変更を認め、事業を推進することが妥当であると判断した。	[対応方針] 見直し継続 [付帯意見] 事業推進にあたっては、さらなる計画変更による工事費の増加が生じないよう十分に留意するとともに、残土処理の工夫をはじめ、コスト削減に向けたあらゆる手段を検討しながら、早期完了に努められたい。併せて、今後の道路整備事業の計画立案においては、残土流用について各事業間で綿密な連携・調整を図り、効率的な有効活用を努めるとともに、これまでの公共事業の知見や事例を十分に活用しながら、地盤条件を的確に把握するための調査方法についても検討するよう努められたい。
112	道路整備	交付金事業(道路)	国道459号 堂山(喜多方市)	道路改築 L=2,300m	事業採択から10年経過	(1,800)	1,800	±0	900	H24(2012)	R13(2031)	0.32(参考値0.67)	A	A	A	A	B	A	事業継続	西会津町奥川地区、喜多方市山都町堂山、宮古地区にとって第三次救急医療施設への唯一のアクセス道路である。また、当該地区は高齢者人口が増加しており、安全安心な交通の確保が急務となることから、現計画のとおり事業を進める必要がある。	本道路は、新潟県新潟市と浪江町を結ぶ路線であり、地域連携道路を補完し、広域市町村圏を相互に連絡する重要な路線である。また、西会津町奥川地区、喜多方市山都町堂山・宮古地区にとって第三次救急医療施設への唯一のアクセス道路でもある。本事業において線形不良及び幅員狭小区間が解消されることにより、大雨による異常気象時の通行規制区間の解消、安全で円滑な交通の確保、緊急輸送路機能の確保等が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし

令和4年度公共事業評価委員会の審議結果及び委員会意見

事業整理番号	区分	事業名	箇所(市町村)	事業概要	評価理由	全体事業費(百万円)			事業執行済額(百万円)	事業期間		費用対効果(B/C)	進捗状況等の評価						県の対応方針(案)		公共事業評価委員会(案)	
						前回(当初)	今回	前回差前回比		事業採択年度	完了予定年度		現状及び見通し	期待される効果	社会情勢の変化	評価指標の状況	費用対効果	コスト削減	方針(案)	理由	審議結果	委員会の意見
113	道路整備	道路橋りょう改良事業(県単)	土湯温泉線中町2(福島市)	道路改築L=440m	事業採択から10年経過	(1,130)	1,130	±0	640	H24(2012)	R9(2027)	0.85(参考値1.46)	A	A	A	A	B	A	事業継続	福島松川スマートICから医大附属病院高度救命救急センターへの搬送時間の短縮。安全性の向上や高速道路から福島市南部や川俣町などへのアクセス性向上によって地域活性化が図られるため、現計画のとおり事業を進める必要がある。	本道路は、福島県立医科大学付属病院へのアクセス道路であり、主要生活幹線道路を補完し、市町村間を連絡する生活道路に位置付けられている重要な道路である。本事業において交差点改良及び幅員狭小区間が解消されることにより、交差点の混雑解消、高度救命救急センターまでの搬送時間の短縮、高速道路とのアクセス向上による地域活性化等が期待される。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 なし
114	河川整備	交付金事業(河川)	伝樋川(伊達市)	掘削築堤護岸L=3,400m	前回評価から5年経過	5,490	5,490	±0	3,569	H5(1993)	R10(2028)	7.20	A	A	A	A	A	A	事業継続	整備済区間においては浸水被害の軽減が図られており、未整備区間付近には人家をはじめ、緊急輸送道路である国道349号や要配慮者利用施設があることから、治水安全度向上のため、引き続き計画的に事業を進める必要がある。	本事業の対象となる伝樋川沿川では、度重なる洪水により人家等への浸水被害が発生してきた。一方、下流の整備済区間では浸水被害が大きく軽減されており、事業効果は顕著である。本事業の未整備区間の付近には人家をはじめ、緊急輸送道路である国道349号や高齢者施設があることから、事業実施の必要性が高い。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 なし
115	河川整備	交付金事業(河川)	百日川(本宮市)	掘削築堤護岸L=640m	前回評価から5年経過	2,150	2,150	±0	789	H14(2002)	R13(2031)	7.60	B	A	A	A	A	A	事業継続	整備済区間においては浸水被害の軽減が図られており、未整備区間付近には人家をはじめ、県道須賀川二本松線があるとともに、市街地化が進んでいることから、治水安全度向上のため、引き続き計画的に事業を進める必要がある。	本事業の対象となる百日川沿川では、度重なる洪水により人家等への浸水被害が発生してきた。一方、下流の整備済区間では浸水被害が大きく軽減されており、事業効果は顕著である。本事業の未整備区間の付近は、保育所が新たに建設されるなど市街地化が進み、事業実施の必要性が高い。したがって現計画のとおり事業を進めることが妥当と判断した。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 なし
116	砂防	交付金事業(砂防)	慶山沢(会津若松市)	えん堤工	事業採択から10年経過	(700)	700	±0	318	H24(2012)	R7(2025)	93.1	A	A	A	A	A	A	事業継続	土砂災害による被害を防止し、地域住民の安全安心を確保するため、現計画のとおり事業を継続し、早期に完了を図る必要がある。	本事業の対象渓流は、急峻な山腹を擁しかつ地質も脆弱なために、土砂災害のリスクが高い状況にある。対象渓流下流には、高齢者施設や小学校、また多数の人家が存在している。本事業は、砂防えん堤を整備することにより、土砂災害リスクを抑えようとするものである。本事業により、これら拠点施設や地域住民の生命・財産に対する災害リスクの低減に資すると考えられる。したがって現計画のとおり整備を進めることが妥当と判断した。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 なし
117	砂防	補助事業(砂防)	叶津川(只見町)	えん堤工	事業採択から10年経過	(1,394)	1,394	±0	348	H24(2012)	R8(2026)	2.79	B	A	A	A	A	A	事業継続	土砂災害による被害を防止し、地域住民の安全安心や開通による効果が大きい国道289号の通行を確保するため、現計画のとおり事業を継続し、早期に完了を図る必要がある。	本事業の対象流域は、浅草岳火山砂防区域に属し、渓岸浸食・山腹崩壊が多数見られ、多量の土砂礫が深床内に堆積しており、土砂・流木流出の危険性が非常に高い状況にある。本事業は、砂防えん堤及び流木捕捉工を整備することにより、土砂・流木災害及びそれらに伴う洪水災害のリスクを抑えようとするものである。本事業により、地域住民の生命・財産に対する災害リスクの低減に資すると考えられる。したがって現計画のとおり整備を進めることが妥当と判断した。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 なし
118	下水道	交付金事業(下水道)	阿武隈川上流流域下水道二本松処理区(二本松市)	処理面積A=1,013ha	計画変更を行うとする事業	14,030	14,042	+12 +0.1%	11,842	H4(1992)	R20(2038)	1.46	B	A	A	B	A	A	休止	二本松市流域関連公共下水道では、中心市街地の面整備が概ね完了しており、今後の流入量の伸びは小さく、当面、既存施設での処理が可能であることから、今回、本事業(整備事業)は休止とするものである。	本事業は、阿武隈川流域の水質保全と生活環境の改善を図るために、流域下水道として終末処理場と幹線管渠を整備するものであり、阿武隈川流域別下水道整備総合計画に位置付けられている重要な処理区である。二本松市の流域関連公共下水道では中心市街地における整備が概ね完了しており、今後の流入量の伸びは小さいと見込まれることから、当面は既存施設での処理が可能であると考えられる。したがって、流入量が増加して事業の再開が必要になるまで「休止」が妥当と判断した。	〔対応方針〕 休止 〔付帯意見〕 社会情勢の変化や市街地整備の動向を的確に捉えながら、将来増設が必要となった場合には、速やかに事業を再開できるよう留意すること。